

**「新世代モバイル通信システムの技術的条件」のうち
「高高度プラットフォーム（HAPS）の技術的条件」の
検討開始について**

**令和7年7月17日
新世代モバイル通信システム委員会**

- 高高度プラットフォーム（HAPS※）とは、高度20kmから50kmまでの成層圏を飛行する無人航空機等に携帯電話基地局を搭載したもの。HAPSの導入により、離島、海上、山間部等も含めた効率的なエリア化や災害時等における早期の通信手段の確保が可能になると見込まれている。
- 令和8年以降のHAPSの導入に向け、他の無線システムとの共用条件を踏まえ、HAPSの技術的条件の検討を行う。

※ High Altitude Platform Station

検討対象

HAPSのシステム構成要素のうち、サービスリンク及びフィーダリンクについて検討

サービスリンク（移動系リンク）

- HAPSと携帯電話端末との間の通信回線
- 2GHz帯（Band1/n1）の周波数を利用

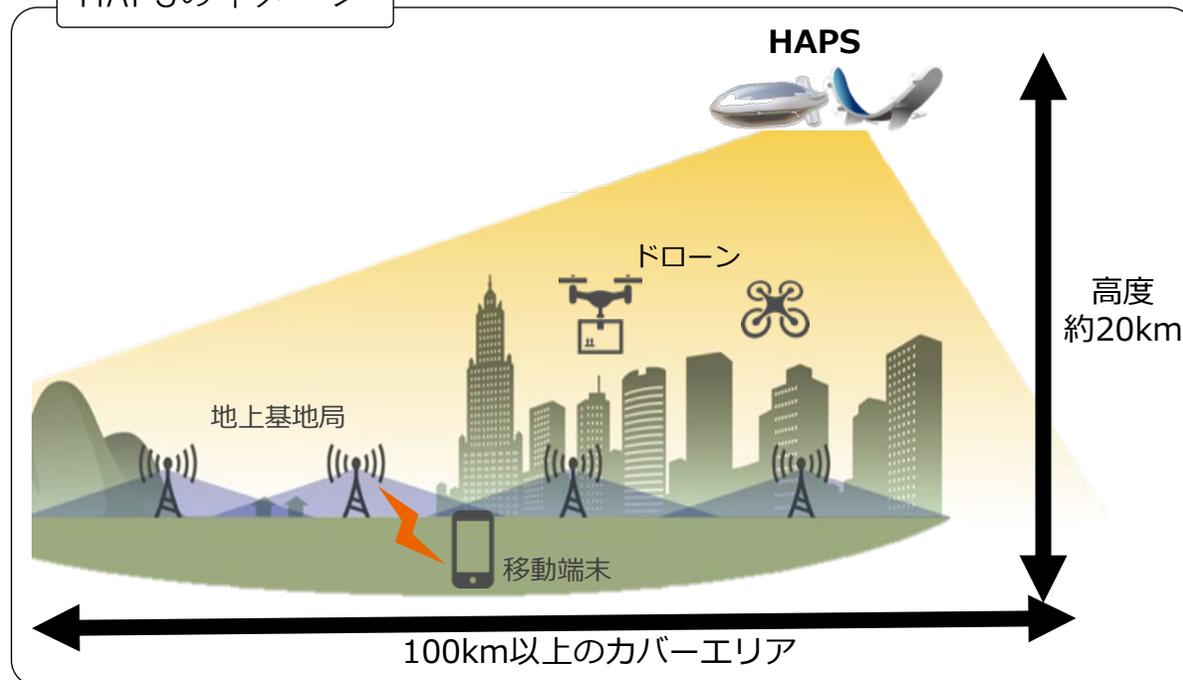
フィーダリンク（固定系リンク）

- HAPSと地上間を結ぶ固定業務を行う無線回線
- 39GHz帯（38-39.5GHz）の周波数を利用

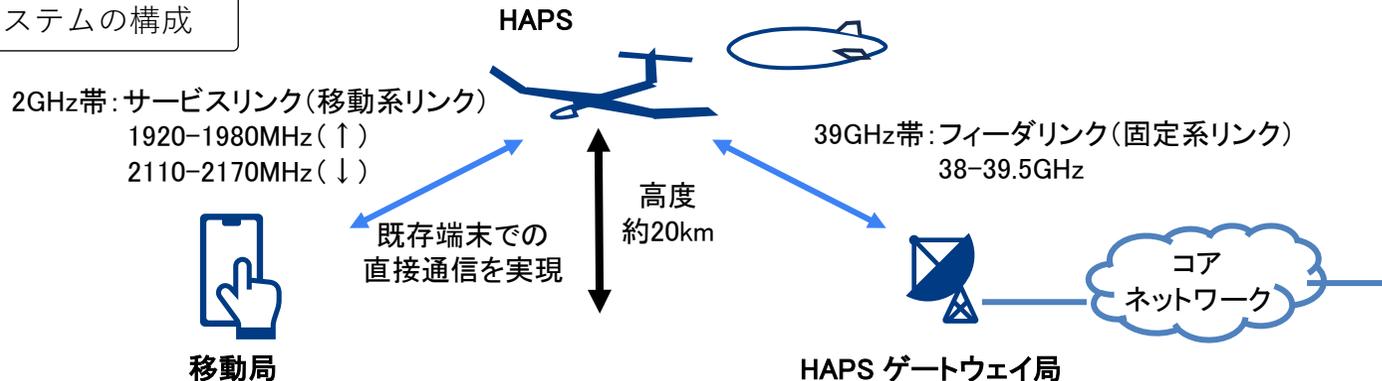
検討スケジュール（想定）

令和7年11月頃 一部答申

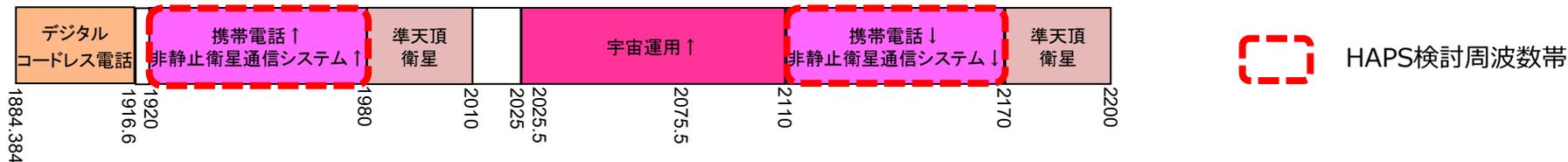
HAPSのイメージ



HAPSの無線システムの構成



2GHz帯: サービスリンク (移動系リンク)



39GHz帯: フィーダリンク (固定系リンク)

